

家畜衛生だより



令和元年9月第26号（豚）
東部・北部家畜防疫獣医師会
（公社）千葉県畜産協会
東部家畜保健衛生所
TEL：0475（52）4101
FAX：0475（52）3335
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kh-toubu/index.html>

埼玉県で豚コレラ発生！（国内43例目）

43例目

所在地	埼玉県秩父郡小鹿野町 (41例目の搬出制限区域内の農場)
飼養頭数	1,118頭
経緯	9月16日 飼養豚の異常報告を受け、立入検査を実施。 9月17日 精密検査により疑似患畜と判定。

9月17日、韓国でアフリカ豚コレラ、初発生！

「野生動物の侵入対策」「人、車両等の出入対策」「豚舎内へのウイルス侵入防止対策」の徹底をお願いします！

☆9月30日（月）に旭市で豚コレラ講習会が開催されます。詳細は別紙を御参照ください。

PED発生情報（今季1例目）

	確定 診断日	発生農場	症状
1例目	9月7日	県北東部の1農場 (約5,000頭飼養の肥育農場)	肥育豚6頭で 黄色泥状下痢

豚の様子がおかしいな、と思ったら…

東部家畜保健衛生所 Tel.0475-52-4101

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください

豚コレラ講習会

日時 令和元年9月30日(月) 午後1時～午後5時30分
場所 旭市『ヒューマンプラザ黄鶴』(旭市鎌数9229-1)

関東に侵入を果たした豚コレラ。入れないために、何ができるのか。広げないために、何ができるのか。真正面から向き合った企画をご案内します。なるべく多くの方々にご参集頂けますようお願い合わせの上ご来場ください。

問題を複雑にしている最大の要因は、農相自身が「非清浄国と見なされないということが最も大切」と発言していることからわかるとおり、清浄国ステータスの維持、即ち輸出の継続にある。ただしこれは、国内養豚が今、ここで死守すべきものとは言いがたく、安倍政権の“輸出戦略”に乗せられた輸出振興継続するという忖度色の強い動機と言わざるを得ない。(PigExpress8月4週号より)



写真：豚事協ゆめ通信No.76

第一演者：岩田寛史先生 「豚コレラ『今』という局面」(仮)

月刊ピッグジャーナル編集長。業界の裏と表を知り尽くし、常にホットな情報をリアルタイムで発信する。豚コレラに関しては、詳細な発生情報に加えてこれまでの政府の対応を舌鋒鋭く追及。今最も注目されるワクチン戦略の是非についても詳細な議論を提供している。今という局面において、関東最大級の養豚密集地帯である千葉県北東部は、何をすべきなのか。俯瞰的な視点を語ってもらう。

野生動物対策
が農家の義務
になります！

有効な防護柵はこれだ！

- ・柵の高さは？
- ・メッシュの径は何mm×何mmがいいの？
- ・防護柵下のくぐり抜けは、どうやって防ぐの？
- ・忌避剤って、イノシシに効くの？
- ・電気柵は必要？



写真：ニッポン食育ネットHP

第二演者：江口祐輔先生 「納得！これがイノシシ対策」(仮)

農研機構西日本農業研究センター鳥獣害対策技術グループ長。人間の思い込みを捨て、動物の目線で彼らの素顔を知ingことをモットーに、徹底したフィールドワークから動物の行動と心理を明らかにする。農家必聴の包括的かつ具体的、実用的な内容と、興味深い実例が満載。特にイノシシの行動学は、豚にも通じるため飼養管理の参考にも。笑いとともにイノシシ対策が腑に落ちる講義に定評あり。

第三部：防疫演習 「どうなる？旭で豚コレラが出たら！」

令和元年9月30日午前10時、旭市の某養豚場の農場主は飼養豚の異常に気が付いた……。その後起きることを、あなたは正確に想定できますか？

豚コレラの通報から疑似患畜確定まで、時間軸に沿った発生想定シナリオを用意、キャストに演じてもらいながら実際の流れをシミュレーション。

更に疑似患畜確定後、移動制限区域の農場、搬出制限区域の農場も登場します。出荷はできるのか？餌の搬入はできるのか？影響は、発生農場にとどまらない！

旭市養豚推進協議会が取り組んできた、「入れないことが大前提、入ったら初発で止める」ための取り組み。どうしたら機能するのか？いま一度確認し、話し合いましょう！！